

大学の教育力の計測と比較分析に関する研究



【中野キャンパス】人文社会学部 経営学科 経営コース 教授

阿部 廉 Abe Yasushi

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード: 教育力指標・大学経営政策・学士力(卒業生成果)・比較分析・地域性/大学特性



研究の概要

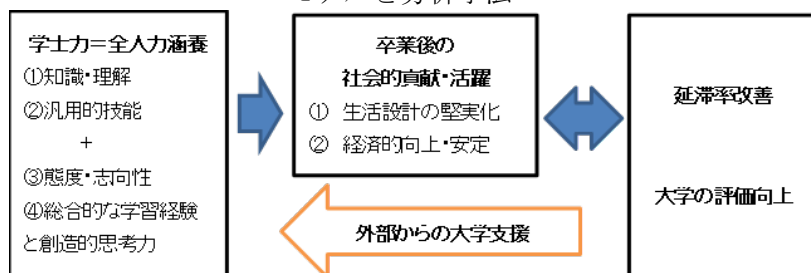
本研究は、奨学金返済延滞の要因分析を基盤としつつ、それを大学教育力の成果指標として再構築し、大学間比較を通じて教育力の計測枠組みを提示するものである。従来の奨学金研究は学生個人の経済的困難や制度設計に焦点を当ててきたが、本研究では大学経営政策が卒業生の社会的・経済的成果に及ぼす影響を検証する点に特色がある。奨学金利用者の匿名個票データを用い、延滞有無を被説明変数とするロジスティック回帰分析により、卒業後の就労状況や年収、貸与総額、学部区分等が延滞に有意に影響することを確認した。さらに、大学四季報等の外部データを組み合わせ、就職支援職員比率、教員比率、教育研究費充当度など大学の経営戦略・施策が卒業生の就職率や平均年収を通じて返済状況に有意に影響することを重回帰分析で明らかにした。加えて、クラスター分析により、国公立・私立を問わず学士力向上努力に注力している大学群が、そうでない大学群よりも、返済・就職成果で優位にあることを示し、大学特性に応じた施策の重要性を指摘した。

以上より、奨学金延滞は教育力の成果を測る重要な指標であり、大学経営政策や地域性を踏まえた比較分析が不可欠であることを論じている。

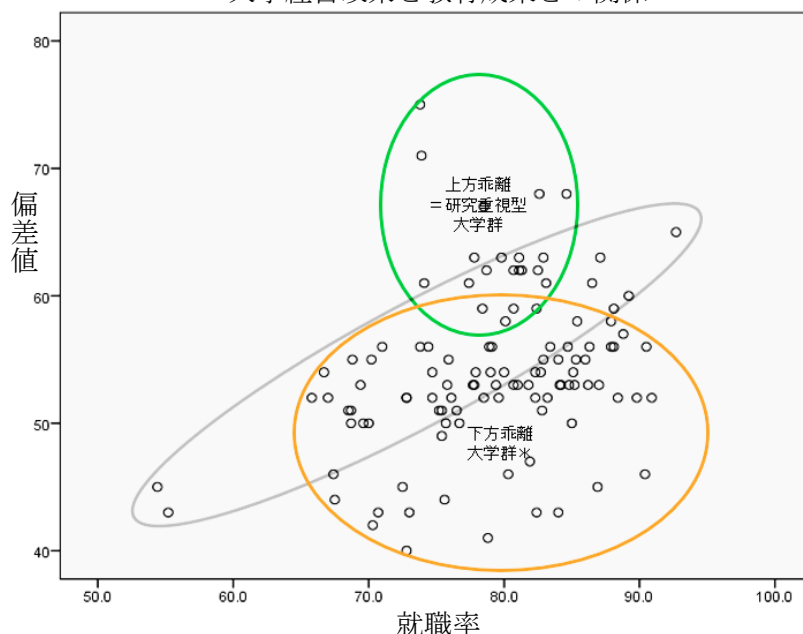
SDGs 目標 4: 質の高い教育をみんなに

SDGs 目標 8: 働きがいも経済成長も

モデルと分析手法



大学経営政策と教育成果との関係



* 「下方乖離」大学群の中には、「就職率重視型」と「学士力涵養型」の異なるタイプの大学が混在している可能性がある点には留意を要する。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

【実学へのつながり】・奨学金返済・延滞状況を教育成果指標として活用し、大学教育の社会的効果を可視化。
・就職率や平均年収を産業界の人材ニーズと結びつけ、教育施策改善に直結。

【協力可能事項】・大学施策の効果検証に関するデータ分析支援。

知的財産・論文・学術発表など(詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください)

- ・「奨学金利用者の卒業後の社会・経済的状況に関する分析」
- ・「大学経営政策における奨学金管理業務の担う役割に関する研究」